

第15回: まとめ: 「環境」とは「私たち」そのものである

2012/1/23

1 概要

環境概念の修正によって、「世界=私+環境」という式は「世界=私たち+環境」となった。では「私たち」と「環境」の境界はどこにひけるのか。そこには正解はない。つきつめれば地球の生態系総体というシステムを「私たち」と捉えることができる。そう考えると「世界=私たち=環境」が成立し、環境問題とは「私たちがいかに存続するか」という問題にほかならないことが理解される。

2 導入: 前回のおさらい

- 学校で習う「環境問題」は多くの人々に共通の課題がほとんど
 - 例: 地球温暖化、生態系保全、エネルギー問題
- 実際の環境問題には、人々の間で利害が対立する問題が多い
 - 例: 諫早湾の干拓事業、里山の開発

3 「私たち」と「環境」の境界は?

- 「私たち」はどこまで拡大できるか
 - 私 → 私の家族 → 親戚 → … → 世界
 - 私 → 私の学科 → 学部 → … → 世界
 - 私 → 私の家 → 私の町内 → … → 世界

4 「私たち」 = 「世界」

- 「環境」 + 「私」 = 「世界」
- ここで、「私」を「私たち」に変えると
- 「環境」 = 「私たち」 = 「世界」

環境をどう守るかという問題は、私たちがどうやって存続するかという問題であり、この世界をどうやって存続させるかという問題である。

試験について

問題

A 次の1～10までの設問のうち6つを選び、解答しなさい（各15点）。

1. 「エコキャップ運動」について簡単に説明し、どのような問題があるかを記せ。(1)
2. 「環境」とは何か？ 基本的な考え方を記せ。(2,3,4)
3. 生物間相互作用のうち「共生」に関する事例をひとつあげ、説明せよ。(6)
4. あなたの身近にいる生物を1種類あげ、それとあなたとの相互作用（関わり）について記せ。ただしペットはのぞく。(6,7)
5. 直接的に生態系に悪影響を及ぼす人間の活動をおおきく3つないし4つに分類し、それぞれについて手短かに説明せよ。(8)
6. 「里山」が衰退していった原因を説明せよ。(10)
7. 社会の持続可能性とはどういう事か記せ。そのうえで、現代社会の持続可能性に関する問題点を示せ。(11,12)
8. 持続可能な社会を築くためには生物多様性の保全が不可欠である。その理由を説明せよ。(11)
9. 「コモンズの悲劇」とはどのような現象をあらわす言葉か、説明せよ。(13)
10. 「地球温暖化」とは何か説明せよ。そのうえで、現在の地球温暖化をめぐる議論に含まれる問題点を述べよ。(9)

B 「環境と人間」の授業全体を通じて、あなたが感じたこと、考えたことを記せ（10点）。

注意事項

- ノート、レジュメ等の持ち込み不可
- 字数制限は特に設けない。解答欄の大きさを目安にすること。（おおむね幅 17cm x 高さ 5cm）。
- 再試験は行わない。

授業の配布資料

- <http://ape.chubu-gu.ac.jp/env2011.html>
- 1月25日までに配布資料と授業概要を掲載します。